



シラバス登録 プレビュー



選択したシラバスのプレビュー画面です

 平成29 年度 [操作ボタン](#)

 講義科目名称 : **日本語学概論 I**
 英文科目名称 : ---

 授業コード : **52013**

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
前期	講義	2単位	
曜日時限			
前期: 金曜2限			
配当学科・学年			
教育1			
担当教員			
大槻 美智子			
		幼DP1,学DP1・2,特DP1・2	

授業テーマ	国家と言語の関係や日本語の音や語彙の特徴についての知識を得、理解を深める。
講義概要	教師となる人が身につけておいてほしい〈言語観〉や〈日本語の特徴〉を、身近な例から学ぶ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・言語と国家の関係を理解し説明できる。 ・日本語の「音声・音韻」の諸特徴について理解し説明できる。 ・日本語の語彙—特に語種や語の意味について理解し説明できる。
評価方法・フィードバックの方法	<p>〈評価方法〉</p> <p>事前課題やレポート (30%) 小テスト (20%) 定期試験の結果 (50%)</p> <p>〈フィードバックの方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テストは、時間内に採点・説明し返却する。 ・レポートはルーブリックによる評価を行い返却する。 ・質問等は毎回提出して返却するコメントカードによって行う。
評価基準	<p>〈最低限の到達度〉 (可)</p> <p>知識を6割方獲得し、課題やレポートを提出している。</p> <p>〈望ましい到達度〉 (優・秀)</p> <p>知識を8割以上獲得し、課題やレポートに問題意識を持って取り組み自分の言葉で表現できている。</p>
テキスト	特に指定しない。
参考書	必要に応じて紹介する。
履修上の注意	<p>板書しなくても、説明の言葉はノートに記すこと。</p> <p>毎回提出するコメントカードには、質問・授業の要約・感想などを丁寧に書くこと。</p>
準備学習<予習・復習の時間・内容>	<p>2単位の修得には、2時間×15回の授業のほか合計60時間(4時間×15回)の事前事後学習が必要です。30時間の事前学習(予習)と事後学習(復習)を目安に学習に取り組んで下さい。</p> <p>予習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出された事前課題に取り組む。 ・レポートの課題について調査する。 <p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義後に配布プリントやノートを見てよく復習し、小テストの準備をする。 ・レポートに対するルーブリック評価を確認し自分のレポートの長短を確認する。
オフィスアワー等	質問は、授業終了時およびコメントカードへの記入ならびに火曜4限・金曜3限に研究室で受付ける。
備考・メッセージ	日本語に関する基礎的知識を学習するので、「学校教育専攻」の学生は履修して下さい。中等教育実践コース、学校教育臨床コースの選択必修科目です。

授業計画					
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標	
1	講義	大槻	オリエンテーション 日本語学概論とは何か	講義の概要、評価方法などについて知る。 日本語学概論の講義名の意味が理解できる。 日本語と国語の違いについて理解できる。 小テスト	
2	講義	大槻	言語と国家 (1)	言語と国家の問題点について理解できる。 小テスト	
3	講義	大槻	言語と国家 (2)	日本における言語問題について理解できる。	
4	講義	大槻	言語と国家 (3)	多言語国家の実態と問題点についてレポートを作成できる。 レポートの書き方がわかる。	
5	講義	大槻	日本語の音 (1)	言語音とは何かを説明できる。	

				音声器官の名称を知る。		
				発音のしくみについて説明できる。		
				小テスト		
6	講義	大槻	日本語の音（2）	音声と音韻の違いについて説明できる。		
				小テスト		
7	講義	大槻	日本語の音（3）	日本語の音節の特徴について理解できる。構造面		
				小テスト		
8	講義	大槻	日本語の音（4）	日本語の音節の特徴について理解できる。リズム面		
				小テスト		
9	講義	大槻	日本語の語彙（1）	日本語の語種の種類とその特徴について理解できる。		
				小テスト		
10	講義	大槻	日本語の語彙（2）	外来語とその問題点について理解できる。		
				小テスト		
11	講義	大槻	日本語の語彙（3）	外来語とその問題点について理解できる。		
				小テスト		
12	講義	大槻	日本語の語彙（4）	類義語の意味比較の方法を知る。		
13	講義	大槻	日本語の語彙（5）	国語辞典の意味記述のよみかたや問題点について理解できる。		
				小テスト		
14	講義	大槻	日本語の語彙（6）	対義語の類型について理解できる。		
				小テスト		
15	講義	大槻	まとめ	国家と言語の関係、日本語の音の特徴、日本語の語種や意味についての基礎が理解できる。		

授業方法

	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	講義	教室	1	資料を配付する。	90分×15

閉じる